

校長室だより

3月



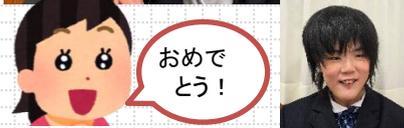
発行年月日
2026年3月

指宿特別支援学校
校長 眞下千代子

卒業 おめでとう!



小学部6年生の卒業制作の「獅子舞の獅子」です！
迫力があります！



お世話になりました!

〇ALTの先生〇
トーマス・レインホルド先生



- 〇外部専門家との連携指導〇
 - 作業療法士 三堂 様 (菊野病院)
 - 理学療法士 湯ノ口 様・小山 様 (菊野病院)
 - 言語聴覚士 松尾 様・松永 様 (鹿児島医療技術専門学校)
 - コーディネーター 折口 様 (相談事業所なんさつ)
- 〇口腔相談・摂食指導〇
 - 佐藤 秀夫 歯科医師 (鹿児島大学病院)
- 〇スクールカウンセラー〇
 - 伊木 昭子 様
- 〇心理教育相談〇
 - 山喜 高秀 教授 (志学館大学)



工事が終了しました!



雨の日も安心です!



創立十周年記念
碑を移設しまし
た!

学校関係者評価者委員会

ありがとう
ございました

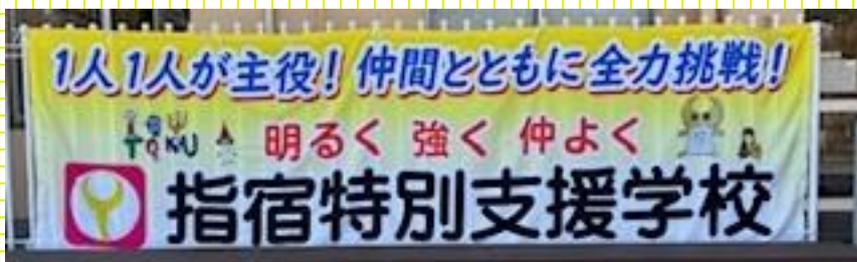
今年度は、6月19日、11月25日、R8年1月29日に実施しました。保護者の皆様、生徒、職員の評価を元に反省・改善し、より良い学校づくりを行っていきます。
貴重な御意見をいただいた評価委員の方々、本当にありがとうございました。

【学校関係者評価委員】

- 狩集 雅人 様 (指宿小校長)
- 山下 真矢 様 (指宿市教委)
- 坂口 理恵 様 (いずみ保育園長)
- 中園 伸宏 様 (指宿ロータリークラブ)
- 荒武 友輝 様 (PTA会長)

横断幕ができました！

頑張る子供たちを応援するために横断幕を作りました！
スローガンは高等部の生徒が考えてくれました！



トピックス

子どもたちが将来、地域で自分らしく生活し社会に参加していくためには、学校だけでなく家庭での経験の積み重ねがとても大切です。ここでは、発達段階に応じて家庭で意識したい支援のポイントを「小学部」「中学部」「高等部」と分けて紹介します！

1 小学部(生活習慣と安心感を育てる時期)

基本的な生活習慣を身に付ける(起床・着替え・食事・歯磨きなど)
できることは自分でやる経験を増やす
生活の流れを「見える化」する(予定表・手順カードなど)
家族との会話を大切にし、安心できる関係を作る
(低学年のうちは、ハグするなどスキンシップも！)
簡単なお手伝いを体験する(食器運び・洗濯物たたみなど)
外出先で挨拶や順番を待つなどの社会的マナーを体験する

病院にマイナスなイメージをもたせないために、元気で調子の良いときに、病院や歯医者に行き、お医者さんたちと仲良くなっておきましょう！

2 中学部(社会性と役割を育てる時期)

家庭の中で役割を持つ(ゴミ出し、風呂掃除など)
自分の予定や時間を意識する習慣を付ける
買い物やお金の使い方を体験する
自分の気持ちや考えを言葉で伝える練習をする

公共交通機関を利用する経験を増やす
困ったときに助けを求める力を育てる

3 高等部(社会参加と自立を意識する時期)

生活リズムを整え、自分で健康管理を意識する
働くことを意識した生活習慣を身に付ける(時間・責任・継続)
家庭内の仕事を継続して任せる
お金の管理や買い物の経験を増やす

公共交通機関や地域施設の利用に慣れる
将来の生活について家族で話し合う機会をもつ



おわりに

子供たちの成長の姿は一人一人違います。大切なのは、できないことではなく「できるようになったこと」に目を向けながら経験を積み重ねていくことです。家庭と学校が協力しながら、子供たちの自立と社会参加を支えていきましょう。

経験が宝 継続は力



AIに写真を加工してもらいました

学校のことをより深く知っていただきたくて、発行してきた校長室だよりですが、今年度も二回の発行になりました。そして、今年度末で役職定年を迎えることになり、今回が最後の号となります。

子供たちが日々成長していること、学校を取り巻く関係機関の方にたくさん御支援いただいていること、そして何より先生方が子供たちの成長を願って奮闘していることをもっともお伝えしたかったのにと少しの後悔と寂しさを感じています。

さて、学校で日々成長している子供たちと過ごす、また夢をもって生きることを伝える立場でありながら、還暦を迎え「私は？」と改めて考えるさせられています。

夢に向かって成長する子供たちの姿に触発され、私も私なりにどんな夢が描けるか？わくわくしながら模索していきたいと思っています。

指宿の地で、子供たち、保護者の皆様、関係機関の皆様と出会い、喜びながら過ごせた二年間は私の人生の宝です。御協力ありがとうございました。